

2015 年度 関西学院大学自己点検・評価
 <A票> 学外第三者評価結果 【関西学院大学全体】

1. A票全体に対する評価

評価コメント	
評 価 者 A	<p>関西学院大学の理念・目的は、キリスト教主義に基づく「学びと探求の共同体」と規定する貴学の特徴が明確に示されている。また、学びと探求の目的を「社会貢献のために」と位置づけ、人材養成の目的を「Mastery for Service を体現する世界市民の育成」としている点は、我が国大学の中でも燦然と輝く存在感を感じさせる。しかし、<u>高邁で魅力的な精神が、現実の大学の運営や教育研究活動に具体的な形で生かされているかどうかという点に関して言えば、少なからず乖離があると言わざるを得ない。</u></p> <p>その理由は、教育目標が、学校教育法や教育基本法の枠内で定められており、スクールモットーとして世界市民の育成を7つの知識・能力等を具体的なイメージで表している内容との整合性が必ずしも明確になっていないからである。教育目標が教育課程編成に際して最重要である点を考えると、スクールモットーを「各学部の教育課程に通底するもの」という位置づけだけでは、教育編成過程における重みに疑問を感じないわけにはいかない。</p> <p><u>私立大学といえども公教育機関である以上、法令で求められている内容を無視することはできないが、全人類的な普遍的な価値を追求するという関学独自の教育目標が、教育課程の編成に際しても全面に示されてよいと思う。キリスト教主義という表現こそあるものの、学位授与方針として記載されているものは、大学設置基準等で規定されている学位の授与の要件を示しただけになっている。理念・目的と教育課程との橋渡しをする意味でも、キリスト教主義という抽象的な文言ではなく、それを体現したスクールモットーを学則等に明確に記載することを望みたい。</u></p>
評 価 者 B	<p><u>冒頭のA1の学院の理念は、私立大学として理想的な素晴らしい理念であり、関学として、このような理念を有し、標榜することに敬意を表したいと考えます。</u></p> <p><u>これに対し、「卒業時に学部等の区別なく共通して身につけておくべき知識・能力と学生像」は、現実的な目標になっていると考えますが、上の理念に謳われている「大きな志」「社会改革の気概」「行動力」が見えなくなっています。これは「生涯学び続ける態度」だけでは埋められないギャップだと思います。多くの人にとっては、「大きな志」「社会改革の気概」「行動力」というのは、若い時期にはあっても、年齢とともに丸くなって取れていく角(かど)のようなものではないでしょうか。そうではなく、<u>年月を経ても心の中で変わらず燃え続ける炎のような情熱を理想として求めるのであれば、卒業時にはその種火のようなものが望まれるのではないのでしょうか。</u></u></p> <p>A3の五つの教育研究目標の柱は、適切に立てられていると考えます。</p> <p>A4以下が方針で、三つのポリシーのうち、DPのみ目標の一環に位置づけられているのは、よく考えられていると感心しました。</p> <p>A6以下の方針も適切に立てられていると考えます。特に、A8として教員像を一つの柱とされたことは、高く評価できます。A9には社会連携・社会貢献が挙げられていますが、産学協力は現実には収益につながらず、社会連携・貢献として概念されることは、適切だと考えます。</p>

<p>評 価 者 C</p>	<p>A-2 「“Mastery for Service”を体現する世界市民」に向け、卒業時に学部、研究科の区別なく共通して身につけておくべき知識・能力と学生像」</p> <p>→学部(学士課程)での記述は普遍的であるが、抽象度も高いため、各学部でより具体化された学生像として提示されることが期待されます。</p> <p>→大学院の記述があまりに一般的に過ぎると思われます。(敢えて申し上げれば、関学以外の大学でも同じ記述があてはまると言うことができます)</p> <p>A-2 学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー;CP)</p> <p>→「【確認5】学位授与方針に基づく学習成果を測定するための評価指標を開発し、適切に成果を測るよう努めているか」が「いいえ」となっているが、今後評価指標を開発する見込みがありますでしょうか。</p> <p>A-3 教育研究目標</p> <p>→目標1～5は、バランスよく設定されていると思われます。</p> <p>A-4 教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー;CP)</p> <p>→ダブルチャレンジ制度は特徴ある施策として、評価できるとみられます。</p> <p>A-5 学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー;AP)</p> <p>→A-2の学生像の方が「学力の3要素」との関係がわかりやすいのに対して、APでは若干、あいまいな記述となっていると受け止められます。</p> <p>A-6 正課外教育の支援方針 (本学独自項目)</p> <p>→このようなイシューの設定は、大変興味深く、今後の展開が注目されます。</p> <p>A-7 学生支援に関する方針</p> <p>→大学院については次年度以降の検討ということですが、特にグローバル対応、経済的な支援(TAなどの活用も含む)、進路支援の充実については、重点的に検討されることが求められます。</p> <p>A-9 社会連携・社会貢献に関する方針</p> <p>→記述が産官学連携、知的財産関連に偏っているという印象があり、地域貢献、国際貢献などの活動にも、もう少し言及してもよいと考えられます。</p> <p>A-10 教育研究等環境の整備に関する方針</p> <p>→建設計画に織り込む以外の情報基盤の整備などへの言及もあつた方がよいと思われます。</p> <p>A-11 管理運営に関する方針</p> <p>→近年、組織改革が進み、体制が整ってきた時期となっている点が明示されています。</p> <p>A-12 財務運営に関する方針</p> <p>→目標設定が定量的でシンプルに定められており、評価できます。</p> <p>A-14 キリスト教主義に基づく教育に関する方針(本学独自項目)</p> <p>A-15 人権教育・人権問題に関する方針(本学独自項目)</p> <p>A-16 ボランティア活動・教育に関する方針(本学独自項目)</p> <p>A-17 危機管理に関する方針(本学独自項目)</p> <p>→それぞれ、独自項目として、関学らしい方針と活動の推進が期待されます。</p>
----------------------------	--

<p>評 価 者 D</p>	<p>・理念、目的、目標、方針が明確に定められたという印象である。今後、評価推進委員会において検証プロセスをどのように構築するかがポイントとなる。今後これらの方針を学内外にどのように周知していくかが課題となると思われる。</p> <p>・学位授与方針に基づく学習成果の測定のための評価指標を開発するとあるが、どのような指標を検討されているのか？</p> <p>・学生支援に関する方針において、「修学支援」「生活支援」の取り組みを重点的にフォローしているのは評価できる。できればそれを定量化した目標に落とし込み、全学で意識づけをしてもらいたい。</p> <p>・管理運営方針にあるとおり、これらの全学方針とガバナンスをどのように結び付けていくのがポイントとなると思われる。意思決定過程の集約・簡素化が目標として掲げられているが、これにより意思決定がより適切に迅速化できるよう期待したい。</p> <p>・財務方針については、項目を絞って数値により明確化したことは素晴らしい試みである。今後これら項目の実現するために何が必要なのかを、財務担当はぜひ提案していただきたい。</p>
<p>評 価 者 E</p>	<p>関西学院大学は、これまで長い間にわたって、自己点検評価、認証評価に対して真摯に対応してきており、A 票全体としては、記述されている項目や内容など、十分であると考えます。</p> <p>2015 年度から評価プロセスが開始されるので、今後は、全体として内容が精査され、検証プロセスが機能し、周知公表が進むこと等が期待されます。</p> <p>A-6「正課外教育」、A-14「キリスト教主義」、A-15「人権教育等」、A-16「ボランティア活動等」、A-17「危機管理」は、関学独自の項目ですが、関学の特徴が出ていて好ましいと思われます。特に、人権教育の基本方針については、「卒業後も人権を守れるような社会へと変革するための発信」は、重要かつ適切な指摘です。</p> <p>個別に気がついた点は、以下のとおりです。</p> <p>P2 A-4「教育課程の編成・実施方針」において、<u>大学院博士課程後期で身に付けておくべき知識能力は、「高度な研究能力及びその基礎となる豊かな学識」と記述されていますが、今後、後期課程修了者も広く社会で活躍するためには、研究能力を活用した実践的な総合力も求められると思いますが、その検討が望まれます。</u></p> <p>P4 目標3「キャンパスのグローバル化の推進」では、留学生のみが取り上げられていますが、外国人教員・研究者も視野に入れることが求められます。(C 票に掲げられている行動計画等においても、この点は明確ではありません。)</p> <p>P7～ A-6において、「正課外教育」とは、「正課外教育プログラム」、「課外活動」、「ボランティア活動」の三つとされています。ボランティア活動を例にとると、A-6「正課外教育の支援方針」、A-7「学生支援に関する方針」及び A-16「ボランティア活動・教育に関する方針」において取り上げられています。これらの項目間の整理が求められます。</p> <p>P8 A-7「学生支援に関する方針」においては、「修学支援」、「生活支援」、「進路支援」が取り上げられていますが、C 票の教育研究目標4「総合的な学生支援の実現」では、学生相談、キャンパス環境整備、課外活動、ボランティア活動、奨学金、キャリア教育などが取り上げられています。一つの評価作業においては、「学生支援」の内容を統一的に整理することが求められます。</p> <p>また奨学金は、「修学支援」と「生活支援」の双方において取り上げられていますが、この項目間の整理が望まれます。</p> <p>P11 A-8「教員像」に関し、組織の構成員として、組織で与えられた職責を果たすこと、そのためのリーダーシップ、協調性が大切ですが、この要素を付け加えることが求められます。</p> <p>P15～ A-12「財務方針」、A-16「ボランティア活動」、A-17「危機管理」などは、簡単に記述されていますが、より具体的な記述が望まれます。</p>

2. 学位授与方針、教育課程の編成・実施方針、学生の受け入れ方針の関係性に関する評価

評価コメント	
評価者 A	<p>大学が社会から負託されている大きな権限が学位を授与する権限と教育を行う権限である点を考えると、学位授与方針(DP)、教育課程の編成・実施方針(CP)、学生の受け入れ方針(AP)が有機的な連関を持っていることは当然である。これまでの大学は、大学設置基準によって定められた単位数などの卒業・修了認定のための要件、授与される学位名称にふさわしい教育科目・授業科目の開設など、主に設置認可権を持つ文科省の指示に基づいて教育活動を展開していた。しかし、平成7年の大学設置基準の大綱化以降は、大学は自らの権限と責任において、学位の授与と教育課程の編成を行うことになった。</p> <p>しかし、単科の大学を除くと、複数の学部等の部局で構成されている大学にとってみれば、DP・CP・AP の関連性は、学部等の専門分野単位で求められている事項なのか、大学全体として求められている事項なのか、必ずしも明確ではない。<u>基本的な教育研究組織として学部・学科制度を核として構成しているわが国の大学においては、教養教育などの共通性の高い教育課程の CP はともかくとして、大学全体としての DP・CP・AP については、それ自体を明確にすることは容易ではない。たとえ、定めたとしても、その内容は一般的・抽象的で、具体性の乏しいものなるのはやむを得ない。</u></p> <p>大学のグローバル化が進む中で、国際的通用性のある大学教育を展開するためには、大学の構成要素である学問分野ごとの教育プログラムの整備が必要であり、それを編成する主体である部局等の活動の活性化と教育内容・水準が重要であることは論を待たない。その点を考えると、DP・CP・AP の連関性を大学レベルで求めるのは、あまりにも形式論的であり、学部・研究科単位で検討すべき課題であると思う。ただし、留意すべきことは、<u>各学部・研究科は、自らの専門分野にける教育活動が、大学が目指す教育目標の実現に資するものであることは勿論のこと、それが国際的通用性が認められるものであることを第三者評価等を通じて確認する必要がある。</u></p>
評価者 B	<p>DPについて、「学部等の区別なく共通して身につけておくべき知識・能力」を定めておくのは、DPが長くなり過ぎないための生活の知恵として評価できます。</p> <p>CPは、ダブルチャレンジ制度とキリスト教科目以外は、一般大学と異なるところがありません。<u>難しいことは重々承知の上で申し上げますが、関学らしいカリキュラム編成の指針としては、背景となる考え方を述べるなど、もう少し具体的かつ詳細なものにすることが期待されます。</u></p> <p>APに関しては、多元的に評価することが謳われていますが、目標5の高大接続の入試改革では、多元的な評価にすることが課題になっています。すでに多元的であると考えたら、大きな改正は不要なのではないでしょうか。</p>
評価者 C	<p>AP では、学生に対して比較的、総合力の重視を訴えており、それはCPにも反映されている(ダブルチャレンジ制度など)が、DP までにはつなげられていないとみえます。</p> <p>一方で、一芸に秀でているとか、グローバルな人材の確保といった尖った人材を育成し、ダイバーシティも担保するという方針もあり得ますが、そのような観点は検討されているでしょうか。</p>
評価者 D	<p>・特段のコメントはありません。</p>
評価者 E	<p>A-2「学位授与方針」、A-4「教育課程の編成・実施方針」、A-5「学生の受け入れ方針」は、全て、関学の理念・目的のもとにあり、相互の関連性があることは当然ですが、<u>各項目の記述が簡単になされており、これらの三つのポリシーを読むことによって関学の教育が浮かび上がってはきませんでした。大きな課題ですが、より具体的に書き込むことが望まれます。</u></p>

2015年度 関西学院大学自己点検・評価
 <A票>学内第三者評価結果【関西学院大学全体】

A-1. 理念、A-2. 目的、めざす学生像、学位授与方針

【確認1】	「関西学院大学の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)」は、「A-1. 関西学院の理念」に沿い、本学がめざす方向性を適切に表現しているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
【確認2】	「関西学院大学の目的(Web サイト上)」は、A-2「関西学院大学の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)」に沿った内容であり、社会に対して分かりやすい表現になっているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
【確認3】	「学部・研究科の区別なく共通して身につけておくべき知識・能力と学生像」と「学位授与方針」は、A-2「関西学院大学の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)」、「関西学院大学の目的(Web サイト上)」と整合性が取れ、目的の実現に向けて相応しい内容となっているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
【確認4】	学位授与方針は、学位授与にあたり、学位授与基準および当該学位に相応しい学習成果を明確に示しているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
【確認5】	学位授与方針に基づく学習成果を測定するための評価指標を開発し、適切に成果を測るよう努めているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
【確認6】	目的、「学部・研究科の区別なく共通して身につけておくべき知識・能力と学生像」、「学位授与方針」は周知・公表されているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 2名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名	・2016年3月の公表が待たれます。(評価者B)
【適切性の 検証体制】	適切性の検証体制を明確にしているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
		3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名

2015年度 関西学院大学自己点検・評価
 <A票>学内第三者評価結果【関西学院大学全体】

【検証 プロセス】	検証プロセスを適切に機能させているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 1名	・ 検証プロセスの検討が望まれます。(評価者A) ・ 2015年度よりスタートする「評価プロセス」が期待されます。(評価者B)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 2名	
3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名		
【全体に対するコメント】		

A-3. 教育研究目標

【確認1】	「教育研究目標」は、A-2「目的」、「Mastery for Service」を体現する世界市民」に向け、卒業時に学部、研究科の区別なく共通して身につけておくべき知識・能力と学生像」の実現に向けて、相応しい内容であるか、適切な表現であるか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名		
【確認2】	「教育研究目標」は、教育の質向上に向けた意欲的な内容になっているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名		
【確認3】	「教育研究目標」は、周知・公表されているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 2名	・ 2016年3月の公表が待たれます。(評価者B)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名	
3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名		
【適切性の 検証体制】	適切性の検証体制を明確にしているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名		
【検証 プロセス】	検証プロセスを適切に機能させているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 0名	・ 検証プロセスの検討が望まれます。(評価者A) ・ 2015年度よりスタートする「評価プロセス」が期待されます。(評価者B)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 3名	
3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名		
【全体に対するコメント】		

2015年度 関西学院大学自己点検・評価
 <A票>学内第三者評価結果 【関西学院大学全体】

--

A-4. 教育課程の編成・実施方針

【確認1】	教育課程の編成・実施方針は、A-2「Mastery for Service」を体現する世界市民」に向け、卒業時に学部、研究科の区別なく共通して身につけておくべき知識・能力と学生像」、「学位授与方針」、A-5「学生の受け入れ方針」と整合性が取れているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …… 2名	・ 学生の受け入れ方針との関係をより明確にすることが望まれます。(評価者A)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …… 1名	
3. 十分な自己評価がされているとは言えない …… 0名		
【確認2】	教育課程の編成・実施方針は、A-3「教育研究目標」の達成に向けて相応しい内容となっているか、表現は適切か。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …… 0名	
3. 十分な自己評価がされているとは言えない …… 0名		
【確認3】	教育課程の編成・実施方針は、教育課程の編成や、教育内容、教育方法等に関する考え方を明確に示しているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …… 0名	
3. 十分な自己評価がされているとは言えない …… 0名		
【確認4】	学位授与方針の内容を実現するために、教育課程の編成・実施方針は適切な内容となっているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …… 0名	
3. 十分な自己評価がされているとは言えない …… 0名		
【確認5】	教育課程の編成・実施方針は周知・公表されているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …… 2名	・ 2016年3月の公表が待たれます。(評価者B)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …… 1名	
3. 十分な自己評価がされているとは言えない …… 0名		
【適切性の 検証体制】	適切性の検証体制を明確にしているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …… 0名	
3. 十分な自己評価がされているとは言えない …… 0名		
【検証 プロセス】	検証プロセスを適切に機能させているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …… 1名	・ 検証プロセスの検討が望まれます。(評価者A)
2. ほぼ適切な自己評価がされている …… 2名		

2015年度 関西学院大学自己点検・評価
 <A票>学内第三者評価結果【関西学院大学全体】

		・2015年度よりスタートする「評価プロセス」が期待されます。(評価者B)
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・ 0名	
【全体に対するコメント】		

A-5. 学生の受け入れ方針

	学生の受け入れ方針は、A-2「学位授与方針」、A-4「教育課程の編成・実施方針」と整合性が取れているか。	
【確認1】	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている…………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている…………… 0名	
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない… 0名	
	学生の受け入れ方針は、理念・目的、教育研究目標を踏まえ、入学時に求める学生像や、修得しておくべき知識等の内容・水準等を明らかにしているか。	
【確認2】	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている…………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている…………… 0名	
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない… 0名	
	学生の受け入れ方針と、実際の学生募集方法、入学者選抜の実施方法は整合性が取れているか。	
【確認3】	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている…………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている…………… 0名	
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない… 0名	
	学生の受け入れ方針は、周知・公表されているか。	
【確認4】	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている…………… 2名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている…………… 1名	・2016年3月の公表が待たれます。(評価者B)
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない… 0名	
	適切性の検証体制を明確にしているか。	
【適切性の検証体制】	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている…………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている…………… 0名	
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない… 0名	
	検証プロセスを適切に機能させているか。	
【検証プロセス】	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている…………… 1名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている…………… 2名	・検証プロセスの検討が望まれます。(評価者A) ・2015年度よりスタートする「評価プロセス」が期待されます。(評価者B)
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない… 0名	

2015年度 関西学院大学自己点検・評価
 <A票>学内第三者評価結果 【関西学院大学全体】

【全体に対するコメント】

A-6. 正課外教育の支援方針

【確認1】	正課外教育の支援方針は、A-2「学部・研究科の区別なく身につけておくべき知識・能力と学生像」や A-3「教育研究目標」等に沿い、本学のめざす方向性に合致した内容であるか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
【確認2】	正課外教育の支援方針は、本学構成員にわかりやすい表現となっているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
【確認3】	正課外教育の支援方針は、教職員に周知・公表されているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 2名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名	・ 2016年3月の公表が待たれます。(評価者B)
【適切性の検証体制】	適切性の検証体制を明確にしているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
【検証プロセス】	検証プロセスを適切に機能させているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 1名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 2名	・ 検証プロセスの検討が望まれます。(評価者A) ・ 2015年度よりスタートする「評価プロセス」が期待されます。(評価者B)
【全体に対するコメント】		

2015年度 関西学院大学自己点検・評価
 <A票>学内第三者評価結果【関西学院大学全体】

A-7. 学生支援に関する方針

	学生支援の方針(修学支援、生活支援、進路支援)は、理念・目的、入学者の傾向等の特性を踏まえた内容になっているか。	
【確認1】	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 2名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名	・ 大学院のそれぞれの課程に合わせた学生支援方針の総記決定が望まれます。(評価者A)
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名	
【確認2】	方針に沿って、修学支援、生活支援、進路支援のための仕組みや体制を整備し、適切に運用しているか。 (下記のことが明らかであることに留意する。)	
	<修学支援> ・ 留年者及び休・退学者の状況把握と対処 ・ 学生の能力に応じた補習・補充教育の実施 ・ 障がい学生に対する修学支援の実施 ・ 奨学金等の経済的支援の実施	
	<生活支援> ・ 学生相談室等、学生の相談に応じる体制の整備、学生への案内 ・ 各種ハラスメント防止に向けた取り組み	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
【確認3】	学生の進路支援は、入学者の傾向等の特性を踏まえながら、進路選択に関わる指導・ガイダンスの実施の点から取り組んでいるか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 2名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名	・ 大学院生のより一層の企業へ就職支援が望まれます。社会人大学生に対しても、ある程度の生活支援が望まれます。(評価者A)
【確認4】	学生支援に関する方針(修学支援、生活支援、進路支援)は、教職員で共有されているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 2名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名	・ 2016年3月の公表が待たれます。(評価者B)
【適切性の検証体制】	適切性の検証体制を明確にしているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
【検証プロセス】	検証プロセスを適切に機能させているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 1名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 2名	・ 検証プロセスの検討が望まれます。(評価者A) ・ 2015年度よりスタートする「評価プロセス」が期待されます。(評価者B)

2015年度 関西学院大学自己点検・評価
＜A票＞学内第三者評価結果 【関西学院大学全体】

	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・ 0名	
【全体に対するコメント】		

2015年度 関西学院大学自己点検・評価
 <A票>学内第三者評価結果【関西学院大学全体】

A-8. 教員像、教員組織の編制方針

【確認1】	教員像は、教員に求める能力・資質、教育に対する姿勢等を明確にしているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
【確認2】	教員組織の編制方針は、組織的な教育を実施する上において、必要な役割分担や規模(人数)、教員の専門分野やスキル構成、責任体制、を明確にしているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
【確認3】	教員像・教員組織の編制方針は教職員で共有されているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 2名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名	・ 2016年3月の公表が待たれます。(評価者B)
【適切性の検証体制】	適切性の検証体制を明確にしているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
【検証プロセス】	検証プロセスを適切に機能させているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 1名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 2名	・ 検証プロセスの検討が望まれます。(評価者A) ・ 2015年度よりスタートする「評価プロセス」が期待されます。(評価者B)
【全体に対するコメント】		

A-9. 社会連携・社会貢献に関する方針

【確認1】	社会連携・社会貢献の方針は、A-1「関西学院の理念」を踏まえた内容になっているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
【確認1】	3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名	

2015年度 関西学院大学自己点検・評価
 <A票>学内第三者評価結果【関西学院大学全体】

【確認2】	社会連携・社会貢献の方針は、教職員に周知・公表されているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 2名	・ 2016年3月の公表が待たれます。(評価者B)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名	
3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名		
【適切性の検証体制】	適切性の検証体制を明確にしているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名		
【検証プロセス】	検証プロセスを適切に機能させているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 2名	・ 検証プロセスの検討が望まれます。(評価者A)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名	
3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名		
【全体に対するコメント】		

A-10. 教育研究等環境の整備に関する方針

【確認1】	教育研究等環境の整備の方針は、大学の理念・目的を踏まえた内容になっているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 2名	・ 講義室、教育機器室、学生研究室等の充実方針についての具体的記述が望まれます。(評価者A)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名	
3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名		
【確認2】	教育研究等環境の整備の方針は、教職員間で共有化されているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 2名	・ 2016年3月の公表が待たれます。(評価者B)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名	
3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名		
【適切性の検証体制】	適切性の検証体制を明確にしているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名		

2015年度 関西学院大学自己点検・評価
 <A票>学内第三者評価結果【関西学院大学全体】

【検証 プロセス】	検証プロセスを適切に機能させているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 1名	・ 検証プロセスの検討が望まれます。(評価者A) ・ 2015年度よりスタートする「評価プロセス」が期待されます。(評価者B)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 2名	
3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名		
【全体に対するコメント】		

A-11. 管理運営方針

【確認1】	管理運営方針は、意思決定プロセスや、権限・責任(教学組織と法人組織との関係性含む)、中長期の大学運営のあり方を明確にしているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名		
【適切性の 検証体制】	適切性の検証体制を明確にしているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名	
3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 1名		
【検証 プロセス】	検証プロセスを適切に機能させているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 2名	・ 検証プロセスの検討が望まれます。(評価者A)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 2名	
3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 1名		
【全体に対するコメント】		

A-12. 財務方針

【確認1】	予算配分と執行プロセスの明確性・透明性や、監査の方法・プロセス等の適切性について、明確な責任体制のもと、恒常的かつ適切に検証を行っているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	・ 財務方針は管理職会議等で説明されているが…(評価者D)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名		

2015年度 関西学院大学自己点検・評価
 <A票>学内第三者評価結果【関西学院大学全体】

【確認2】	財務方針は教職員に周知・公表されているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 2名	・周知・公表されているはずで、2016年3月公表の予定はないのでは？(評価者B)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
【適切性の 検証体制】	適切性の検証体制を明確にしているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
【検証 プロセス】	検証プロセスを適切に機能させているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
【全体に対するコメント】	3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名	

A-13. 内部質保証に関する方針

【確認1】	学外者の意見を聴取する等、内部質保証の取組みの客観性・妥当性を高めるための工夫をしているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
【確認2】	文部科学省及び認証評価機関からの指摘事項に対して、適切に対処しているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
【確認3】	内部質保証に関する方針は、教職員に周知・公表されているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 2名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名	・2016年3月の公表が待たれます。(評価者B)
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名	

2015年度 関西学院大学自己点検・評価
 <A票>学内第三者評価結果【関西学院大学全体】

【適切性の 検証体制】	適切性の検証体制を明確にしているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
【検証 プロセス】	検証プロセスを適切に機能させているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 2名	・ 2015年度よりスタートする「評価プロセス」が期待されます。(評価者B)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名	
3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名		
【全体に対するコメント】		

A-14. キリスト教主義教育に関する方針

【確認1】	「キリスト教主義教育に関する方針」は、A-2「目的」、「めざす学生像」の実現に向けて、相応しい内容であるか、適切な表現であるか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
【確認2】	「キリスト教主義教育に関する方針」は、周知・公表されているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
【適切性の検 証体制】	適切性の検証体制を明確にしているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
【検証 プロセス】	検証プロセスを適切に機能させているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
【全体に対するコメント】	3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名	
	【全体に対するコメント】	

2015年度 関西学院大学自己点検・評価
 <A票>学内第三者評価結果【関西学院大学全体】

A-15. 人権教育・人権問題に関する方針

【確認1】	「人権教育・人権問題に関する方針」は、A-2「目的」、「めざす学生像」の実現に向けて、相応しい内容であるか、適切な表現であるか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
【確認2】	「人権教育・人権問題に関する方針」は、周知・公表されているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
【適切性の検証体制】	適切性の検証体制を明確にしているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
【検証プロセス】	検証プロセスを適切に機能させているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
【全体に対するコメント】	3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名	

A-16. ボランティア活動・教育に関する方針

【確認1】	「ボランティア活動・教育に関する方針」は、A-2「目的」、「めざす学生像」の実現に向けて、相応しい内容であるか、適切な表現であるか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
【確認2】	「ボランティア活動・教育に関する方針」は、周知・公表されているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 2名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名	・2016年3月の公表が待たれます。(評価者B)
【適切性の検証】	3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名	
	適切性の検証体制を明確にしているか。	

2015年度 関西学院大学自己点検・評価
 <A票>学内第三者評価結果【関西学院大学全体】

証体制】	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数		評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている ……………	2名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている ……………	1名	・「ボランティア活動支援センター会議」の設置が待たれます。(評価者B)
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない …	0名	
【検証 プロセス】	検証プロセスを適切に機能させているか。		
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数		評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている ……………	2名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている ……………	1名	・ 検証プロセスの検討が望まれます。(評価者A)
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない …	0名	
【全体に対するコメント】			

A-17. 危機管理に関する方針

【確認1】	危機管理体制や対応プロセスの適切性について、明確な責任体制のもと、恒常的かつ適切に検証を行っているか。		
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数		評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている ……………	3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている ……………	0名	
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない …	0名	
【確認2】	「危機管理に関する方針」は、周知・公表されているか。		
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数		評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている ……………	2名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている ……………	1名	・ 2016年3月の公表が待たれます。(評価者B)
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない …	0名	
【適切性の検 証体制】	適切性の検証体制を明確にしているか。		
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数		評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている ……………	3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている ……………	0名	
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない …	0名	
【検証 プロセス】	検証プロセスを適切に機能させているか。		
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数		評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている ……………	2名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている ……………	1名	・ 検証プロセスの検討が望まれます。(評価者A)
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない …	0名	
【全体に対するコメント】			